

4年次

腎 II 【Nephrology II】

担当責任者 教授(第2内科学) 尾辻 豊

ねらい

病歴・現症・検査所見から腎疾患の適切な診断と治療法を選択できるようになるために、主な腎疾患の病因・病態生理・診断法および治療を理解する。

学修目標

1. 主要な腎疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げるができる。
2. 基本的な診察法を述べるができる。
3. 主要な検査法の適応と、その数値の意義を列挙することができる。
4. 主要な腎疾患の治療の基本について説明できる。

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について参考書等で予習する。
2. 講義直後(当日)に講義テキスト等を熟読し、内容を深く理解する。

成績評価方法・基準

1. 講義への2/3以上の出席で受験資格を得る。
2. 試験100点満点で60点以上が合格。

○教科書

杉本恒明・矢崎義雄編「内科学」(朝倉書店)
菱田明編「標準腎臓病学」(医学書院)
イヤート2020 内科・外科編 メディックメディア

○参考書

下条文武編「専門医のための腎臓病学」(医学書院)
ガイトン生理学、エルゼビア・ジャパン
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第4版 メディックメディア

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
			原発性糸球体腎炎(総論)	D/F	8/1-3		宮本 哲
			〃 (各論Ⅰ)	〃	〃		〃
			〃 (各論Ⅱ)	〃	〃		〃
			ネフローゼ症候群	〃	〃		中野 陽子
			二次性糸球体腎炎(Ⅰ)	〃	〃		〃
			〃 (Ⅱ)	〃	〃		〃
			尿細管・間質性疾患	〃	〃		田村 雅仁(学外)
			急性腎不全	〃	〃		久間 昭寛
			慢性腎不全	〃	〃		〃
			透析療法(Ⅰ)	〃	〃		宮本 哲
			〃 (Ⅱ)	〃	〃		〃